



第46号

# でん太通信

den ta tu ~ sin

NPO法人  
原発ゼロ市民共同 **かわさき発電所** ニュースレター

●発行 2018.6.15. NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

●発行責任者 川岸卓哉

## ■5/13「第6回 お日さま春まつり」報告

多摩区中野島の中央公園で毎年やってきた「お日さま春まつり」～エコ・自然エネルギーにふれよう～も6回目を迎えました。

5月13日(日)、雨がいつ振り出すか、お客さんは来てくれるだろうかと心配が大きかったのですが、過去最高の約1500人の参加で大成功をおさめることができました。

参加団体も22団体と定着し、最後まで友だちと一緒にまつりを楽しむ姿が見られ、地域の皆さんがまつりを楽しみにしてくださっていることを感じました。

再生可能エネルギーのコーナーも年々充実してきて、昨年に引き続き「再エネ」に関するクイズラリー(原発ゼロ市民共同かわさき発電所、川崎フューチャー・ネットワーク、太陽住建、ソーラーチーム)をやり、70人の親子が参加してくれました。このような取組みの中で、再エネへの関心が広がり、自分たちの住む町により良い環境づくりへの気持ちが芽生えてもらえたら嬉しいです。

今年は専修大学ボランティアサークル(2回目)と、専修大学カップコーラス(初参加)の若者たちが、大いに盛り上げてくれました。また、太鼓演奏やダンスチームの子どもたちの参加もあり、地域の子どもたちもたくさん参加し、活気あふれるまつりとなりました。

これからも息長くこのまつりを続け、再エネの普及と地域の皆さんのパワーが集える場にしていきたいと思ひます。



再エネのクイズ4カ所まわると景品がもらえるスタンプラリー。専修大学カップコーラス部の大学生ボランティアから出題され、一生懸命に考えて答える小学生たち。



脱原発と再エネをアピール



ミツバチの会・代表 玉田 恵美子(当法人 理事)




## ■7/1 第4回総会記念講演 『川崎再エネ促進条例 実現に向けて』のご案内

7月1日(日)、第4回総会后に、記念講演「川崎再エネ促進条例 実現に向けて」を開催いたします。  
詳しくは下記のチラシをご覧ください、皆様のご参加をお待ちしております。当NPO法人の会員ではない方のご参加も歓迎いたします。

NPO法人 原発ゼロ市民共同  
かわさき発電所  
H30年度総会記念


# 川崎再エネ促進条例 実現に向けて




3.11を機に、世界各地で「脱原発」の動きが出てきていますが、残念ながら日本においては、その動きが鈍いのが現状です。それならば地域から変えていこうと、大消費都市川崎に、再生可能エネルギーを促進する市民発の条例を作りたいと思っています。でも、どうやって...? この日、その作戦を練っていきます。

- **日時**：2018年7月1日(日)  
14:45～16:30 (13:30～14:30までは総会)
- **場所**：多摩市民館 第1会議室  
(小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩5分、JR登戸駅から徒歩10分)
- **ゲスト**：渡辺順子さん(大磯町議会議員)  
1996年「大磯町環境基本条例策定委員会」参加をきっかけに、2003年から大磯町議会議員となる。  
2013年「大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例」制定に関わる。一般社団法人大磯エネシフト理事。
- **参加費**：無料
- **プログラム**：
  - 0：「川崎再生可能エネルギー促進条例(再エネ条例)」で実現したいこと
  - 1. 講演「条例を制定するということ」  
～ どうして大磯町に『省エネ・再エネ条例』が成立したのか?  
渡辺順子さん(大磯町議会)
  - 2. 意見交換：  
「条例制定のためにできることを考える」
  - 3. 共有+まとめ

**主催**：NPO法人「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」  
**協力**：川崎地域エネルギー市民協議会  
※原発ゼロ市民共同かわさき発電所は上記協議会に参加しています。  
連絡先：044-211-0121 (川崎合同法律事務所:川岸)、genpatuzero.hatuden@gmail.com

  
<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>  
※最新情報はFBで

NPO法人  
原発ゼロ市民共同  
**かわさき発電所**





## ■6/3「平和をきずく市民のつどい」報告 かわさき発電所の活動と再エネ促進条例制定をアピール

6月3日の日曜日に川崎市平和館で川崎市「核兵器廃絶平和都市宣言」36周年記念「平和をきずく市民のつどい」が開かれました。延1600人の市民、親子が参加しました。

午前中は、学童保育の子どもたちのパフォーマンスやトロンボーンの演奏、合唱などが繰り広げられました。

午後の講演は「あすわか」で活躍中の弁護士の武井由起子さんの「私たちが平和をきずく」というお話でした。安保法制の下で日本が海外で戦争することにならないよう、そして、自衛隊の存在を憲法9条に書き込むなら日本はどうなって行くのかなどを話して頂きました。

「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」は「原発ゼロ」を冠していますが、「平和のつどい」にはそのスローガンの一つに「原発はいらぬ 子どもたちを放射能から守ろう！」があるので、毎年参加して、会の活動や目的をアピールしてきました。

今年も、太陽光発電の1号機2号機が順調に発電していることや3号機が完成したことを伝えるパネル、おひさまフェスの準備やいろいろな行事に参加して再エネの重要性を訴えるパネル展示をしました。

「つどい」の舞台での団体アピールで、岩坂さんは、「再生可能エネルギーとは、太陽光や風力などの自然由来のエネルギーです。地球温暖化に優しく、原発のように回復不可能な甚大な被害をもたらす事故を起こすこともありません。私たちは、川崎市がもっと再生可能エネルギーが活用される街にするために、再生可能エネルギー促進条例の制定活動を行っています。川崎市でエネルギーの地産地消が進むこと、それによって川崎市が災害に強く、環境にも優しい街になることが願いです。(中略)この活動の一環として、多くの方に再生可能エネルギーについて知っていただくために、「日本と再生」という映画のダイジェスト版の上映会を企画していますので、ぜひ見に来て下さい。」と訴えました。

理事 田辺 勝義



## ■「川崎に再エネ条例を制定し、SDGsを4つクリアしよう！」と公害フェスタで訴え



5月27日(日)、川崎市JR武蔵溝ノ口駅前のペデストリアンデッキで行われた「第24回公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」にてパネル展示を行いました。

フェスタの主催は「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」実行委員会。母体となる川崎公害根絶・市民連絡会は「17年間の川崎公害裁判の成果を生かし、企業和解、国・公団和解の精神と内容を尊重し、被害者救済と川崎における大気汚染や道路公害などをなくし、緑と自然に恵まれた街づくりの環境再生

をめざす運動を展開します」を目的として、その一環としてこれまでフェスタを23回開催してきました。毎年、約60団体の方が集まって、市民や社会に情報を発信してきました。

当NPOも「川崎地域エネルギー市民協議会・再エネ条例プロジェクト」、「フクシマを忘れない会」と共同開催。中でも当NPOの政策検討チームが主体となって誕生した再エネ条例プロジェクトの訴えを中心に、チラシ(映画「日本と再生」を楽習しよう)を配布しながら、幾人もの訪れる人と対話をかわしました。

SDGsは2015年にすべての加盟193ヶ国が合意で採択した17の目標で、2016年から30年に達成を目指しています。2001年に採択された国連ミレニアム開発目標は貧困や初等教育、保健など開発途上の開発目標が中心であったのに対して、SDGsはエネルギーや資源の保全、気候変動対策など、先進国と開発途上国の双方が目標を達成しようとしています。

日本のSDGsの達成状況は、ドイツ・ベルテルスマン財団によると、「質の高い教育をみんなに」は達成。一方、ほど遠いのが「貧困をなくそう」。ここに掲げた4つの目標はすべて良いとは言えない評価を受けています。つまり、「エネルギーをみんなに、クリーン」×、「住み続けられるまちづくり」△、「気候変動に具体的な対策を」×、「パートナーシップで目標を達成しよう」×。

SDGsは必ずしも新しい取り組みが必要ではなく、これまで継続的に実施されてきた取り組みの強化によっても達成できます。川崎市に再エネ条例を制定し、4つの持続可能な開発目標をクリアしましょう。

理事 高橋 喜宣



### 【編集後記】

6月9～10日、会津電力と土湯温泉バイナリー発電の視察旅行を開催。福島緑豊かな自然に触れ、その自然から生み出される再生可能エネルギーについて学び、参加した皆さん大満足でした。来月号の報告をお楽しみに！ (加藤伸子)

### ■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

でん太通信は毎月15日に発行しています。

